

平成 22 年度事業報告

1.各部屋の利用状況

室	グループ (担当)		実績
研究教育支援室	機械工作グループ		依頼件数：256件
	ガラス工作グループ		依頼件数：169件
	化学分析グループ		依頼件数：65件
	グループ連携 (真空・低温技術担当)		依頼件数：169件
共同利用促進室	共同利用促進グループ	修理リユース担当	依頼件数：157件
	機器教育・安全技術教育グループ	機械工作・ステューデントショップ担当	学生実習受講者数：136名
			ステューデントショップ利用件数：1,932件
			安全講習会受講者数：79名
		技術講習会受講者数：44名	
	ガラス工作実習担当	学生実習受講者数：347名	
技術講習会受講者数：4名			
リユース促進室	データベースグループ		リユース機器部局間利用件数：345件
			リユース機器部局内利用件数：
	機器リユース促進グループ		リユース機器登録件数：0件
			リユース機器講習会参加者数：82名
先端機器開発室	先端機器開発プロジェクトグループ	高性能小型マルチターン飛行時間型質量分析計プロジェクト (平成20～22年度)	
		全固体真空紫外レーザー超微細加工装置プロジェクト (平成20年～22年度)	
		単一分子化学反応時間空間分解能測定装置プロジェクト (平成21～23年度)	
		STM-SQUID 磁気顕微鏡プロジェクト (平成22～23年度)	

2.年間行事

月日	年間行事
<p>4月30日 (13時～15時)</p>	<p>いちよう祭施設開放</p> <p>NC工作機械、ガラス旋盤、機械工作スチューデントショップ、展示・実習室（センターで開発した教育教材などを展示）を公開・実演を行い、48名の見学者がありました。</p>  <p>実演風景</p>
<p>5月28、6月4日</p>	<p>基礎セミナーに協力</p> <p>基礎工学部の基礎セミナー「極限条件下の物質科学－酸素が超伝導に！－」では展示・実習室を利用して真空・低温装置の実習に協力しました。（11名）</p>
<p>6月17、24日 7月1、8、15、22日</p>	<p>学生実験（真空・低温関係）に協力</p> <p>展示・実習室を利用して理学部学生実験の真空低温関係の授業に協力しました。（49名）</p>  <p>授業風景</p>
<p>8月31日～9月2日</p>	<p>第4回安全講習会</p> <p>機械工作スチューデントショップを安全に利用していただくための講習会で、対象は4回生、院生、教職員です。別日程の臨時安全講習会を合わせて79名の参加者がありました。</p>
<p>9月14～17日 (機械工作)</p>	<p>平成22年度第1回技術講習会の開催</p> <p>機械工作をスキルアップするための講習会を開催し、15名の参加者がありました。</p>
<p>9月25日</p>	<p>SPP</p> <p>理学研究科・科学教育機器リノベーションセンター・千里国際学園高等部の連携でSPP（サイエンス・パートナーシップ・プログラム）を実施しました。テーマは「地球温暖化の原因を科学する第3回」で、オゾン層とフロンガスの関係を当センターで製作した教材を使って学習（実習）しました。（20名）</p>
<p>10月29日</p>	<p>PBLに協力</p> <p>基礎工学部PBL「太陽電池の作製」では展示・実習室を利用して真空・低温装置の実習に協力しました。（3名）</p>

<p>11月10日</p>	<p>第3回革新的研究教育基盤機器開発整備事業ならびにリユース研究教育基盤機器整備報告会の開催</p> <p>上記報告会が産研インキュベーション棟講義室で開催されました。午前は（独）産業技術総合研究所関西産学官連携センター総括主幹の勝谷透先生による招待講演「研究機器開放利用の現状と課題」に続き、革新事業の各プロジェクトから機器開発の進捗状況および開発計画について報告と紹介が行われました。午後からは、リユース担当者によるリユース整備状況、共同利用状況などについて報告が行われました。82名の参加者がありました。</p>	 <p>報告会風景</p>
<p>11月29日</p>	<p>サイエンスセミナー2010</p> <p>理学研究科の主催で奈良県立一条高校との連携プログラム「サイエンスセミナー2010」が開催され、当センターは協賛しました。真空放電実験、質量分析器などを使った環境測定の実習、および各種工作機械やガラス加工の実演・見学を行いました。（40名）</p>	 <p>実習風景</p>
<p>3月8～11日</p>	<p>平成22年度第2回技術講習会</p> <p>機械工作とガラス工作の講習会を開催し、合計8名の参加者がありました</p>	 <p>技術講習会風景</p>
<p>3月17、18日</p>	<p>熊本大学総合技術研究会</p> <p>「フロンガスによるオゾン層破壊のメカニズムを学習するための教育教材の試作」のタイトルで、平成22年度製作の教育教材の発表を行いました。</p>	 <p>発表風景</p>